

かごしま グリーン・ツーリズム フォーラム

参加費
無料

県内のグリーン・ツーリズム実践者及びグリーン・ツーリズムに興味のある方ならどなたでもご参加いただけます

都市と農村との交流促進を目的に取り組みられてきたグリーン・ツーリズム。地域の食は、その地域を特色づけるものであり、来訪者に再度の訪れを促す理由にもなり、何より地域の人々を育ててきたものです。その魅力を今、十分に発信できているのでしょうか？ついつい当たり前になってしまう食の魅力を発信するにはどうしたらよいか、地域の食にはどんな可能性があるのか、今一度考えてみましょう。

日時 平成31年 **3**月 **1**日(金)
13:30-16:00

会場 かがしま県民交流センター
2階 大ホール(鹿児島市山下町14-50)

講師プロフィール



吉本 博明氏

第一工業大学自然環境工学科教授。農学博士。サイエンス・デザイナー。

早稲田大学で心理学を専攻後、家業のきのこ農家の経営に参画し九州大学で農学博士を取得。文系から理系に転じた珍しい経歴を持つ。専門はきのこの薬理作用。また、機能性を活かした農業の六次産業化の指導、商品企画、プロモーション、パッケージデザインなどを行う。担当科目「きのこ学」「六次産業化特論・実習」ほか。

霧島ガストロノミー推進協議会副会長、第一工業大学社会連携センター長などを務める。

著書に「からだにいいきのこ料理115」(理工図書)、「長生きしたかったら大麦を食べなさい」(宝島社)ほか



湯ノ口 久仁子氏

看護師から脱サラして始めた農業。

3人の子育てで母ちゃん業をしながら、食の大切さをあらためて実感し「食と健康」をテーマに食育活動実践中。

自分らしい農業を追求する中で品種や旬を考えた栽培と同時に、それらを有効活用できる「見て・食べて・学べる教材」として、食べ方まで提案するお弁当や給食を製造&販売。

また、地元の観光や異業種と手を組み、もともとある資源と新しい発想をコラボさせたヘルスツーリズムの体験型観光サービスも手掛ける。

看護師と農業者と母ちゃんという、今までの経験を全て活用した取り組みを展開中。

実施概要

- 1 情報提供 (13:30~13:40)
平成30年度 鹿児島県内グリーン・ツーリズムの概況 等
- 2 話題提供 1 (14:40~14:25)
自分を作る食 ~食を通しての自分づくり・仕事づくり~
やさいる代表 湯ノ口 久仁子 氏
- 3 話題提供 2 (14:25~15:10)
ガストロノミーで地域を活かす
~霧島ガストロノミー推進協議会の活動~
第一工業大学教授・社会連携センター長/霧島ガストロノミー推進協議会副会長 吉本 博明 氏
- 4 みんなでよかった話 (15:20~15:55)
参加協議会の皆さんから、今年の活動での「自慢話」「よかった話」を披露いただきます
- 5 閉会行事 (15:55~16:00)



問い合わせ先

かがしまグリーン・ツーリズム協議会 TEL:099-248-8185 FAX:099-248-8186
〒892-0821 鹿児島市名山町3番9号 HP <http://www.kagoshima-gt.net> E-mail: info@kagoshima-gt.net

主催：かがしまグリーン・ツーリズム協議会、鹿児島県